

川崎医療福祉大（倉敷市松島）の学生が、詐欺被害や消費トラブルを防ぐ啓発ボランティアに力を入れている。県消費生活センター（岡山市）と連携し、高齢

者施設や特別支援学校で寸劇を交えた出前講座を開き、啓発資料の作成や戸別訪問も実施。市民の意識向上に一役買っている。（後藤泉稀）

川崎医福大生 啓発ボランティアに力

詐欺被害防止へ出前講座



ボランティアは医療コミュニケーション学科の田村久美准教授（消費者教育）のゼミ活動として、2019年度に始まり、本年度から学科全体の取り組みに拡大。団体名は「吉備団」で、2～4年生12人が所属する。出前講座は悪質な訪問販売や特殊詐欺の手口、インターネット取引の注意点を知らせる内容。ゼミ生は「自分は大丈夫と思わないで。おかしいと感じたら必ず誰かに相談を」と訴えた。受講した90代女性は「自然と頭に入ってきて、気を付けようと思った」。

高齢者施設訪問 リアルな寸劇 手口や注意点紹介

また吉備団は県消費生活センターの依頼で啓発冊子を3月に作ったほか、23年度から民生委員と高齢者の戸別訪問にも取り組む。活動が評価され、国の25年度消費者支援功労者表彰で最優秀の内閣総理大臣表彰を受けた。田村准教授は「私たちの活動は誰でもどの地域でもできる。県内外にノウハウを広げていきたい」と話している。

業者は無料点検を装い、高齢者宅を訪問。「見えない場所が腐り始めていて修理が必要。今なら125万円でできる」と不安をあおり、契約を結ばせた。学生は「自分は大丈夫と思わないで。おかしいと感じたら必ず誰かに相談を」と訴えた。受講した90代女性は「自然と頭に入ってきて、気を付けようと思った」。

寸劇で高齢者に詐欺被害防止を呼びかける
吉備団の学生 16日